

令和3年度授業改善推進プラン【家庭科】

《 各学年の特徴 》

- 5年 家庭科への関心が高く自分の家庭生活の衣食住について考えることができる。体験的活動に意欲的に取り組もうとしている。
- 6年 昨年度の既習事項をいかしながら、体験的学習に意欲的に取り組もうとしている。学習をしっかり振り返り、まとめることができる児童が多い。

《 課題となる育てたい力 》

- 5年 家族の一員としてよりよい生活を送ろうと、家庭の仕事に関する力を身に付け、実践する力。
- 6年 家庭生活に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、それを自分の生活と結び付け、実践する力。

☆授業改善の具体策☆

《授業全体に関わる事項》

- ・学習環境の整備（家庭科室、掲示物等）
- ・学習形態の工夫（個→全→個の学び合い）
- ・課題解決を図るための言語活動等の充実
- ・担任との連携
- ・家庭との連携
- ・ICT機器の活用

《知識・技能》

5年

- ・学習ノートなどを使用し、基礎的・基本的な知識の定着を図る。実習等の活動では、段階ごとに資料や見本を掲示し理解・習得を促す。

6年

- ・学習し身に付けた基礎的・基本的な知識を自らの生活に生かせる力を育てる。調理や製作の際に、既習事項を生かして準備・計画を行わせる。

《思考・判断・表現》

5年

- ・学習ノートを使用し学習させることで、課題解決方法を段階的に表現させる。

6年

- ・身近な学習課題の解決方法を交流しながら表現させることで様々な考え方を表現する力を育てる。

《主体的に学習に取り組む態度》

5年

- ・ICT機器を活用し資料の掲示等を工夫したり、身近な課題設定を行わせたりすることで自らの生活に結び付いた学習に取り組ませる。

6年

- ・身近な学習課題を設定しその解決に取り組ませることで、学習したことを自らの生活に生かそうとする力を育てる。